

科目名称：	ブライダルビジネス論 I	
担当者名：	小滝 勝秀	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
ホテル・ゲストハウス・会館・レストランなど様々な場所で行われる婚礼（挙式・披露宴）の打合せ・当日のサービスを通して婚礼の基礎知識を学びます。		
授業の達成目標・到達目標		
婚礼の基礎知識の修得により、婚礼新規客への説明・受注及び打合せの基本ができるようになる。		

ビジネス実務学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、ビジネス社会で求められる基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP (2)	医療事務や観光業を含むビジネスの専門知識や技能を身につけ、各種資格を取得し、ビジネスワーカーとして他者と協調・協働することのできる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様なビジネス社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP (4)	学生一人ひとりが、ゼミナールを通して、ビジネス現場における様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力を身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
ビジネスDP (1)					0
ビジネスDP (2)					0
ビジネスDP (3)			80	20	100
ビジネスDP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 ホテル経験（レストラン・フロント・宴会・婚礼・マーケティング）	《経験年数1》 33年6ヶ月
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 婚礼の歴史と形態の変遷	講義内容に合わせたプリントの配布	30分
第2回 婚礼の情宣と新規対応	婚礼の歴史と形態の変遷を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第3回 婚礼の打合せ① 招待状	婚礼の情宣と新規対応を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第4回 婚礼の打合せ② 衣装・美容着付	婚礼の打合せ（招待状）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第5回 婚礼の打合せ③ 料理	婚礼の打合せ（衣装・美容着付）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第6回 婚礼の打合せ④ 引出物	婚礼の打合せ（料理）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第7回 婚礼の打合せ⑤ 装飾	婚礼の打合せ（引出物）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第8回 婚礼の打合せ⑥ 演出	婚礼の打合せ（装飾）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第9回 婚礼の席次表	婚礼の打合せ（演出）を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第10回 婚礼の席次表を作る	婚礼の席次表を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第11回 婚礼の見積り書・計算書	婚礼の席次表を作るを配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第12回 婚礼の見積り書・計算書を作る	婚礼の見積り書・計算書を配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第13回 婚礼の当日のスタッフと動き	婚礼の見積り書・計算書を作るを配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第14回 婚礼の打合せ	婚礼の当日のスタッフと動きを配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
第15回 婚礼の復習（各グループごとに婚礼についてのディスカッションを行う）	婚礼の打合せを配布したプリントを基に復習をしてくる	30分
<p>事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 レポート提出80% 講義中の作成物評価20%（見積り書・席次表の作成）</p>		
課題に対するフィードバック		
打合せシミュレーション後、各自にそれぞれの注意点と課題をプリントにてフィードバックする。		
教科書・参考書		
授業ごとにプリントを配布する。		